

[XAMPP版] 監視モニター III

レイアウト作成と監視ホスト作成

1. グループレイアウト作成
2. ホストレイアウト作成
3. 監視ホスト追加
4. レイアウト取り換え
5. 監視モニターで確認
6. Localhostをエージェント監視へ変更
7. 監視モニターで確認

1. グループレイアウト作成

1.1 グループ名、グループ数

php

▽ グループレイアウト作成 その1 ▽

☆作成するレイアウト名称（半角英数8文字以内）およびグループの数を入力して下さい

レイアウト名称	グループ数
graph	1

実行

[監視モニターへ戻る](#)

①メニュー「グループレイアウト作成」選択
②レイアウト名称に半角英数の名称を入力
③グループ数に作成するグループ数入力
④「実行」ボタンクリック

1. グループレイアウト作成

1.2 ホスト数、段数

title1 title2 title3 title4

php

▽ グループレイアウト作成 その2 ▽

☆グループ名：日本語も可能です
☆配置順序：グループを上から縦に配置する、上からの連続番号です
☆1段のホスト数：グループ内のホストを横に展開する数で、標準では8です
☆段数：1グループのホスト数が多いとき下の段に配置します
例：5段で1行のホスト数が8の場合、1グループホスト数は40ホストになります

レイアウト名称: graph グループ数: 1

グループ名	配置順序	1段のホスト数	段数
グラフ	1	3	1

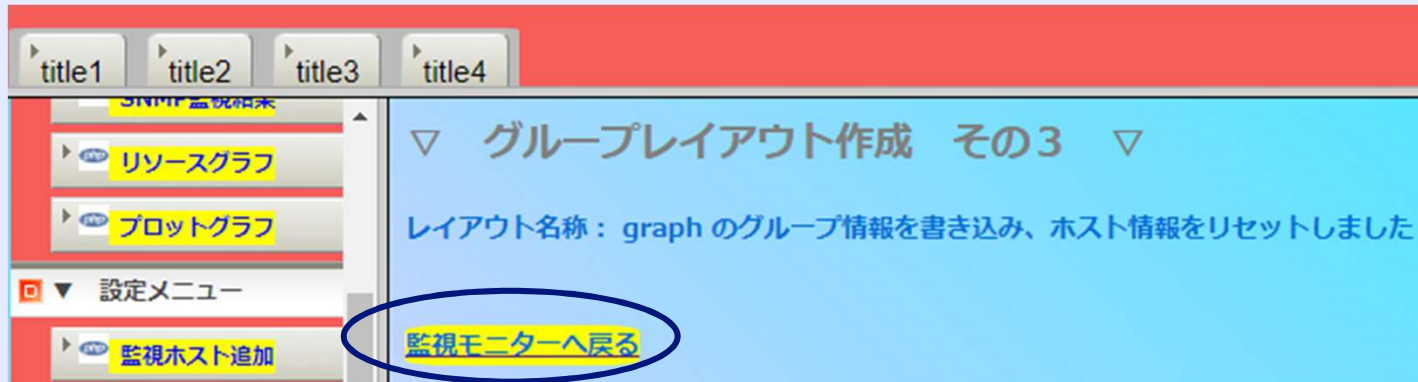
実行

[監視モニターへ戻る](#)

- ①グループ名にグループ表示名入力
- ②一段のホスト数(横展開ホスト数)を数値で入力
- ③②を何段作るか段数を数値で入力
入力例は、グラフグループに1段3つのホスト
- ④「実行」ボタンクリック

1. グループレイアウト作成

1.3 モニターで戻る



- ①グループレイアウトを作成したので
「監視モニターへ戻る」をクリックします

2. ホストレイアウト作成

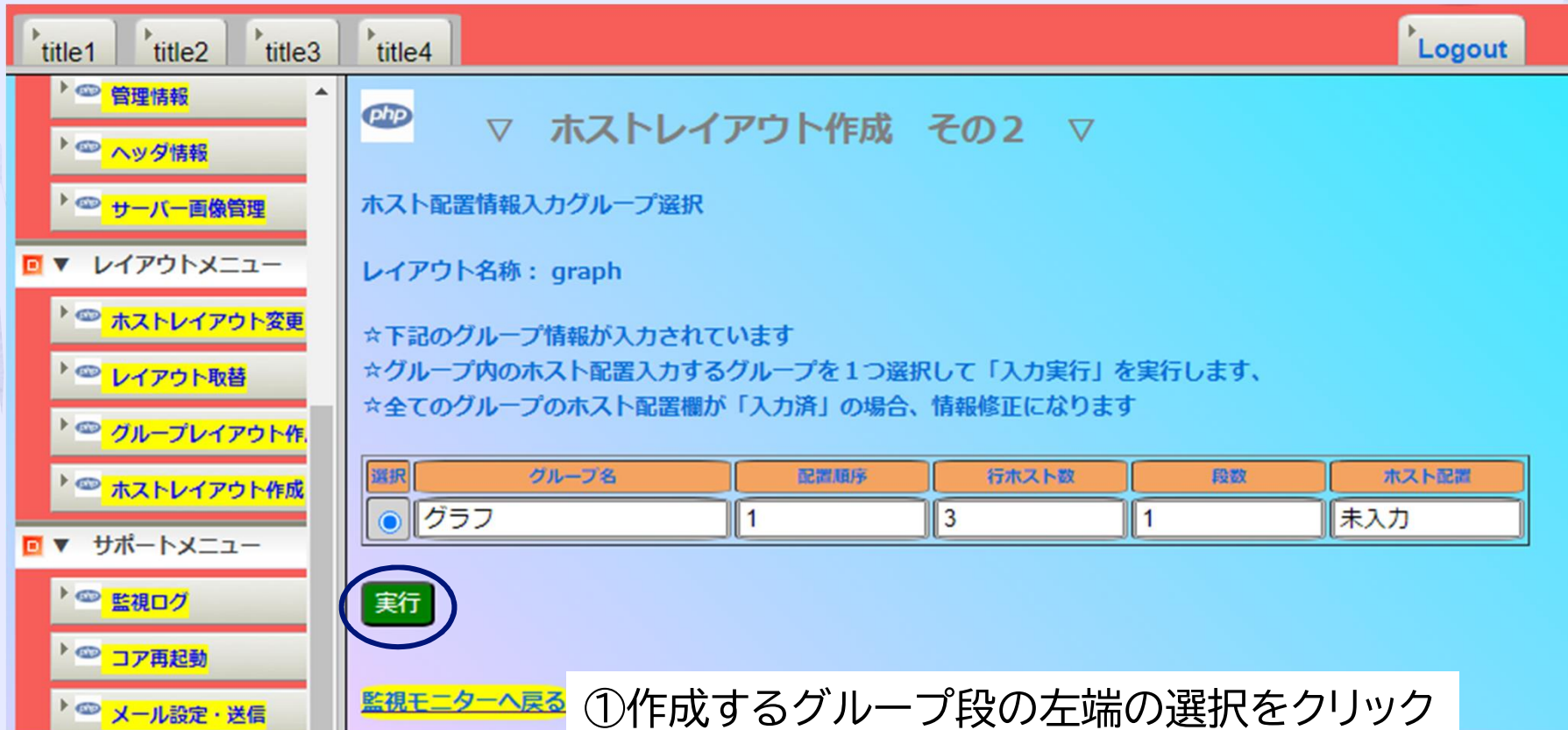
2.1 レイアウト名選択

The screenshot shows a web application interface for creating a host layout. The left sidebar contains a menu with the following items: 管理情報, ヘッダ情報, サーバー画像管理, レイアウトメニュー (expanded), ホストレイアウト変更, レイアウト取替, グループレイアウト作, and **ホストレイアウト作成** (highlighted with a blue circle). Below the menu is a 'サポートメニュー' (Support Menu) with '監視ログ'. The main content area has a red header with tabs 'title1', 'title2', 'title3', and 'title4'. The main area is titled '▽ ホストレイアウト作成 その1 ▽' and contains instructions: '☆グループにホストデータを配置します' and '☆グループで作成したレイアウト略称を選択して下さい'. Below the instructions is a form with a label 'レイアウト名称' and a dropdown menu showing 'graph'. A green button labeled '実行' is circled in blue. At the bottom left of the main area, there is a link labeled '監視モニター'.

- ①メニュー「ホストレイアウト作成」選択
- ②レイアウト名称で作成する名称を選択
- ③「実行」ボタンクリック

2. ホストレイアウト作成

2.2 グループ選択



title1 title2 title3 title4 Logout

管理情報
ヘッダ情報
サーバー画像管理
▼ レイアウトメニュー
ホストレイアウト変更
レイアウト取替
グループレイアウト作成
ホストレイアウト作成
▼ サポートメニュー
監視ログ
コア再起動
メール設定・送信

php ▼ ホストレイアウト作成 その2 ▼

ホスト配置情報入力グループ選択

レイアウト名称 : graph

☆下記のグループ情報が入力されています
☆グループ内のホスト配置入力するグループを1つ選択して「入力実行」を実行します、
☆全てのグループのホスト配置欄が「入力済」の場合、情報修正になります

選択	グループ名	配置順序	行ホスト数	段数	ホスト配置
<input checked="" type="radio"/>	グラフ	1	3	1	未入力

実行

監視モニターへ戻る

- ①作成するグループ段の左端の選択をクリック
例はグループに1段のみである
- ②「実行」ボタンクリック

2. ホストレイアウト作成

2.3 ホスト名入力

title1 title2 title3 title4

管理情報
ヘッダ情報
サーバー画像管理

レイアウトメニュー

- ホストレイアウト変更
- レイアウト取替
- グループレイアウト作成
- ホストレイアウト作成

サポートメニュー

- 監視ログ
- コア再起動
- メール設定・送信

▽ ホストレイアウト作成 その3 ▽

ホスト配置情報入力

☆各々のホスト名下欄にIPアドレスまたは名前解決できるホスト名を入力する
入力の無い場合は空欄でレイアウトします

グループ名 : グラフ

ホスト名	ホスト名	ホスト名
127.0.0.1	192.168.1.155	192.168.1.139

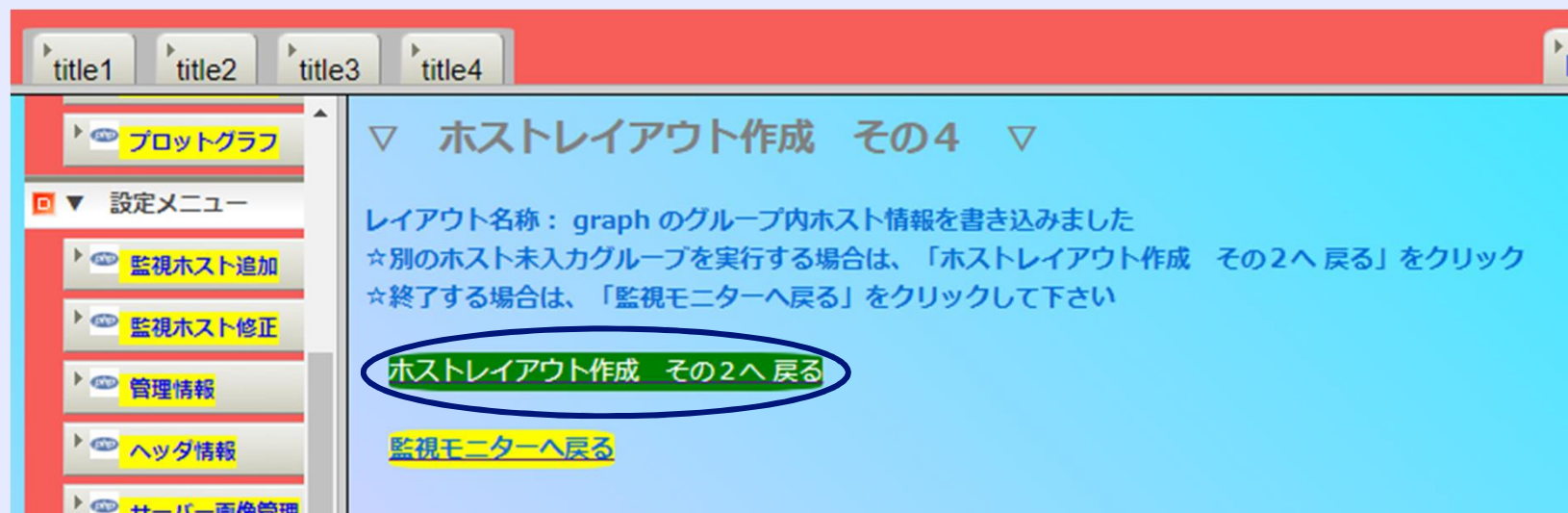
実行

[監視モニターへ戻る](#)

- ①ホスト名の下段に関しホストのIPアドレスまたは完全修飾ホスト名を入力
例はLAN内のプライベートIPアドレス、入力を省略すると空になる
- ④「実行」ボタンクリック

2. ホストレイアウト作成

2.4 確認のため戻る



①1段作成したので、確認のため「ホストレイアウト その2へ戻る」をクリック

2. ホストレイアウト作成

2.5 確認後モニターへ戻る

title1 title2 title3 title4 Logout

管理情報
ヘッダ情報
サーバー画像管理

レイアウトメニュー

- ホストレイアウト変更
- レイアウト取替
- グループレイアウト作成
- ホストレイアウト作成

サポートメニュー

- 監視ログ
- コア再起動
- メール設定・送信

php

▽ ホストレイアウト作成 その2 ▽

ホスト配置情報入力グループ選択

レイアウト名称 : graph

☆下記のグループ情報が入力されています
☆グループ内のホスト配置入力するグループを1つ選択して「入力実行」を実行します、
☆全てのグループのホスト配置欄が「入力済」の場合、情報修正になります

選択	グループ名	配置順序	行ホスト数	段数	ホスト配置
<input type="radio"/>	グラフ	1	3	1	入力済

実行

[監視モニターへ戻る](#)

- ①1段作成完了した、ホスト配置欄の入力済を確認
- ②「監視モニターへ戻る」をクリック

3. 監視ホスト追加

3.1 ホストデータ入力

①ホスト名、表示名、OS種類、コミュニティ名を入力
その後は後程修正するとして、そのまま

②「作成」ボタンをクリック

☆各項目の文字列間に空白を入れないこと（例：[abc def]はNG, [abcdef]または[abc_def]はOK）

ホスト名： 192.168.1.155 モニター画像： 一般Server ▼

表示名： WindowsServer コミュニティ名： public

OS種類： Windows ▼ 死活動作： SNMP監視 ▼ メール要非： メール非送信 ▼

以下、入力オプション

TCPチェックポート： 22

☆閾値の前半は警告値、後半は危険値、これを：（コロン）で区切ります
☆グラフが表示出来ますので入力して下さい。デフォルトは 80:90です

CPU閾値： 80:90 メモリ閾値： 80:90 ディスク閾値： 80:90

監視プロセス： httpd

☆インターネット内サーバーのプロセスには、先頭に「&」を入力します（例：&apache;sendmail）
ただし、監視対象サーバには、プライベートMIBとCRONTABの設定が必要です。

作成

監視モニターへ戻る

3. 監視ホスト追加

3.2 別のホストデータ入力

title1 title2 title3 title4 Logou

設定メニュー

- 監視ホスト追加
- 監視ホスト修正
- 管理情報
- ヘッダ情報
- サーバー画像管理

レイアウトメニュー

- ホストレイアウト変更
- レイアウト取替
- グループレイアウト作
- ホストレイアウト作成

サポートメニュー

- 監視ログ
- コア再起動
- メール設定・送信
- Webエラーログ
- プロットログ
- ログ削除

一般Server

☆各項目の文字列間に空白を入れないこと（例：[abc def]はNG, [abcdef]または[abc_def]はOK）

ホスト名： 192.168.1.139 モニター画像： 一般Server ▼

表示名： UnixServer コミュニティ名： public

OS種類： Unix/Linux ▼ 死活動作： SNMP監視 ▼ メール要非： メール非送信 ▼

以下、入力オプション

TCPチェックポート： 22

☆閾値の前半は警告値、後半は危険値、これを：（コロン）で区切ります
☆グラフが表示出来ますので入力して下さい。デフォルトは 80:90です

CPU閾値： 80:90 メモリ閾値： 80:90 ディスク閾値： 80:90

監視プロセス： httpd

☆インターネット内サーバーのプロセスには、先頭に「&」を入力します（例：&apache;sendmail）
ただし、監視対象サーバには、プライベートMIBとCRONTABの設定が必要です。

作成

監視モニターへ戻る

4. レイアウト取り換え

4.1 レイアウトを現用へ

title1 title2 title3 title4

管理情報

ヘッダ情報

サーバー画像管理

レイアウトメニュー

ホストレイアウト変更

レイアウト取替

グループレイアウト作成

ホストレイアウト作成

サポートメニュー

監視ログ

コア再起動

php

レイアウト保存、読み込み

☆レイアウト名を「○」で選択して、「実行ボタン」をクリックして下さい
☆レイアウト名「現用」は現在使われているレイアウトです、これを保存する場合は、「選択」の上、保存先に8文字以内の英数を入力し、「現用を保存先へ保存」を実行します
☆保存レイアウトを現用で使用する場合は、「選択」の上、「レイアウトを現用へ読み込み」を実行します
☆保存レイアウトを削除する場合は、「選択」の上、「レイアウトを削除」を実行します

レイアウト名	保存・読み込み先	実行ボタン
<input type="radio"/> 現用		現用を保存先へ保存
<input checked="" type="radio"/> graph	現用	レイアウトを現用へ読み込み
		レイアウトを削除

監視モニターへ戻る

- ①作成したgraphグループを本番へ反映するため、graphを選択
- ②「レイアウトを現用へ読み込み」ボタンをクリック

5. 監視モニターで確認

5.1 現用レイアウトで確認



切替直後は次の監視サイクルまで正しく表示されない

5. 監視モニターで確認

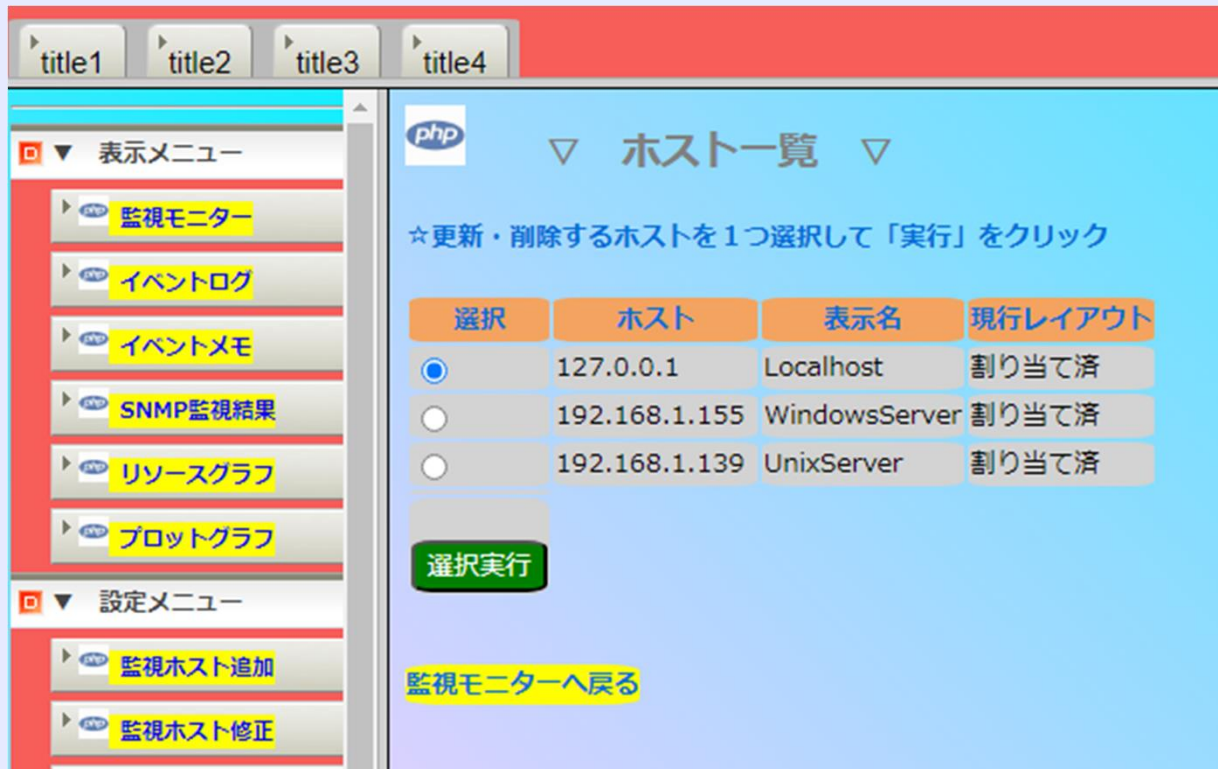
5.2 レイアウトを現用へ



5分程度経過後、snmp監視が始まる
左から、crdptはcpu,ram,disk,process,tcpportを表す
crdの緑色は正常、黄色は警告、赤色は危険
Ptの緑色は正常、赤色はプロセス不在、ポート閉塞

6. Localhostをエージェント監視へ変更

6.1 127.0.0.1選択



127.0.0.1のみがエージェント監視ができる
エージェント監視とは、その監視サイトのすべてのホストをチェックし、
全て正常なら「No Problem」、1つでも異常なら「Problem」と
して管理するローカルホスト

6. Localhostをエージェント監視へ変更

6.1 Agent監視化

title1 title2 title3 title4 Logout

表示メニュー

- 監視モニター
- イベントログ
- イベントメモ
- SNMP監視結果
- リソースグラフ
- プロットグラフ

設定メニュー

- 監視ホスト追加
- 監視ホスト修正
- 管理情報
- ヘッダ情報
- サーバー画像管理

レイアウトメニュー

- ホストレイアウト変更
- レイアウト取替

更新/削除 対象ホスト: 127.0.0.1

ホスト画像

一般Server

変更する箇所のみ入力して下さい

ホスト名	OS種類	結果	死活	表示名	メール	画像
127.0.0.1	Windows	1	Agent監視	Localhost	非送信	一般Server

TCPポート	CPU警告	メモリ警告	ディスク警告	監視プロセス	SNMPコミュニティ

TCPポート欄 ポート番号; 区切
CPU警告欄 警告値: 危険値
メモリ警告欄 警告値: 危険値
ディスク警告欄 警告値: 危険値
監視プロセス欄 プロセス名; 区切、インターネット内のサーバーは先頭に「&」

更新実行

①死活で「Agent監視」を選択
②「更新実行」ボタンをクリック

7. 監視モニターで確認

7.1 Agent監視直後



設定直後は、Problem状態になる

7. 監視モニターで確認

7.2 Agent監視動作後



3分程度経過後、Agent監視が始まる